【A-1】 日本代表認定制度

年間ランキング制度は継続し、各カテゴリで条件を満たしたペアに対して「日本代表」の称号を付与します。また2027シーズンより、将来世代のさらなる競技力向上を目的に18歳以下のペア同士による「ユース日本代表」を新設します。

ただし「日本代表の認定」と「海外大会への参加・派遣資格」は切り離し、日本代表の称号は、国内における年間競技成績を称えるものとして位置づけます。日本代表ユニフォームは、認定選手が任意で購入できる特別ユニフォームとします。

【A-2】 海外大会への参加資格

12月に開催されるブラジル大会を含め、各国で開かれる海外大会への参加は、日本代表認定の有無や年間ランキング順位を問わず、原則として自由とします。
（ただし、各大会の主催者が定める参加資格、競技カテゴリー、出場枠等の条件に従うものとする）

この方針は、2026年のジャパンオープンにブラジル選手が自由参加したように、国境を越えた選手間の交流が活発化する中で、国籍や所属にとらわれず、誰もがつながることのできる「シームレスな交流」こそが、フレスコボールの本質的な魅力であるという考えに基づくものです。

また一人でも多くの選手が自らの意思で海外大会に挑戦できるよう、その意思を尊重するとともに、それぞれが思い描くフレスコボールの楽しみ方や目標の実現を後押しするための制度変更となります。

【A-3】海外大会参加支援に関するJFBAの役務と費用負担・ UAFI連携に基づく支援体制

JFBAによる日本選手団の現地アテンド、これまでの交流枠のような個別の出場調整等は、原則として実施しません。参加に必要な諸経費の実費は選手本人の負担とし、参加に伴う各種手続きや現地での行動についても、原則として選手本人の責任において行うものとします。

ただしUAFIとの連携の一環として、FEFERJが主催する12月のブラジル選手権のエントリーのみ、JFBAが窓口として登録を行います。エントリー費の支払い等は、他大会と同様に現地で選手が行うことをご認識ください。

プレスリリース等での日本代表に関する広報は、例年通り行ってまいります。

【A-4】 国際総合競技大会等への日本代表派遣に関する特例

ワールドビーチゲームズ等の国際総合競技大会をはじめ、大会主催者または国際競技団体から、JFBAによる正式な日本代表選手の選考・派遣が求められる場合には、前各項の規定にかかわらず、特例として日本代表選手団を編成・派遣することがあります。

その際の代表選考基準、派遣人数、費用負担、支援内容等については、大会の開催要項や参加条件等を踏まえ、JFBAが別途定め、公表するものとします。

【A-5】国内公式戦の国際化

すべての国内公式戦について、世界各国の選手に門戸を開く「国際オープン大会」とします。

特にジャパンオープンは、国内外のトップ選手によるハイレベルなラリーが繰り広げられる舞台として、また国境を越えた選手同士の交流やコミュニティの発展を促し、フレスコボールの魅力と可能性を体現するフラッグシップ大会としての発展を目指してまいります。

なお海外選手の参加を開催条件とするものではなく、国籍や居住地を問わず、広くエントリーを受け付ける大会としての運営となります。

【B-1】「クラシックシリーズ」と「公認大会制度」の導入
（詳しい制度内容はブログでも紹介いたします）

日本代表選考につながる従来の年間ランキング制度「(新称)日本シリーズ」とは別に、新たなペアとの挑戦を評価する年間ランキング制度「(新称)クラシックシリーズ」を創設します。

固定ペアを中心とする従来のランキング制度だけでは生まれにくかった、多様な選手との交流や新たな挑戦を促し、選手同士の絆を深めるとともに、国内全体の競技力向上を狙いとしています。

同シリーズの対象となる大会は、「①JFBA主催大会」と「②公認地域協会や地域クラブが主催するJFBA公認大会」の二種とします。

【C-1】賛助会員向け｜年間スコアチャレンジ制度の導入
（詳しい制度内容はブログでも紹介いたします）

JFBA賛助会員同士を対象として、JFBA認定拠点（2026年10月時点ではZFC・GPA）のスピードガンシステムを活用した年間スコアチャレンジ制度「(新称)HAYABUAS Proシリーズ」を新たに導入します。

さまざまな選手と自由にペアを組み、1年を通じて自身の年間最高スコアの更新を目指すもので、やり直しOK、挑戦回数は無制限。ペアの年間最高スコアに挑戦し、ベストスコアを更新しながら、全国の仲間たちと競っていく制度です。

大会だけでなく、日常の練習を通じてゲーム感覚で気軽に自己ベストに挑戦できる、新たなフレスコボールの楽しみ方としての提案です。加えて、より多くの選手がスピードガンシステムに触れる機会を創出し、日常的な利用の促進を図ることも狙いとしています。さまざまなペアとの記録帳代わりとしても、ぜひご活用ください。

＊賛助会員費の一部を原資として、計測拠点のクラブに運営協力金を分配します。金額は、年間のユニーク登録ペア数×100円（上限30,000円）とし、スピードガンシステムの運用を支援します。ぜひ、さまざまな選手との計測を楽しみながら、日々の練習やクラブ活動にもお役立てください。
＊虚偽の申告があった場合は、登録スコアを取消いたします。

『目指せ、日本代表。目指せ、CLASSIC 日本一。』

【A】〔JFBA〕日本シリーズ
日本代表や年間ランキングを競う、JFBA公式戦シリーズ

「旅する、コミュニケーションデザインスポーツ」をコンセプトに、
JFBA主催の公式大会を舞台に、年間ランキングを競う国内最高峰の大会シリーズ。

●対象： JFBA主催の年間8大会　＊いずれも国際オープン大会として開催
●ランキング：〔JFBA〕日本シリーズ ランキング
●選考： 条件を満たしたペアを日本代表認定
　＊ただし海外派遣権利とは紐づきません
●位置づけ：【TOP Div.】日本代表選考の唯一の対象制度
　【CLASSIC Div.】CLASSICルールで戦う日本最高峰の年間ランク制度
●トピック：大会MCにおける新たな取組について
　大会開催地のホストチーム等のご協力を得ながら、ワンポイントでゲストMCを迎える新たな取組も進めます。選手一人ひとりの個性や背景に光を当て、その挑戦を応援するとともに、会場全体で選手の活躍を後押しできる大会をつくる狙いからです。









『起こせ、化学反応。』

【B】［JFBA］クラシックシリーズ
新しいペアで挑戦する、ローカル大会シリーズ

実力や経験の異なる選手がペアを組み、
新しい選手の発掘と選手間交流を促進する公認大会シリーズ。

●対象：①JFBA主催の指定大会
②地域協会・地域クラブ等が主催するJFBA公認大会
●ランキング：［JFBA］クラシックシリーズ ランキング
＊日本代表選考とは独立。2027年11月末日をもって年間順位確定。
●エントリー費：①JFBA主催＝6,000円（ペア）
②地域協会・地域クラブ主催＝4,000円（ペア）
*②の場合、公認料として「エントリー収入の20%」を
大会終了1ヶ月後までに報告書とともにJFBAに納める
●競技ルール：「CLASSIC Div.」ルール
●公認条件：開催希望の旨をJFBAに申し出た後、
JFBA協力のもと、規定の手続きを経て開催。
●出場条件：「①2026シーズンのTOP Div.選手×②CLASSIC Div.選手」ペア or
「②2026シーズンのCLASSIC Div.（含；初出場）選手同士」ペア
※Div.＝2026年出場の「男子」「女子」「ミックス」ごとに判定
※2026シーズンに出場していない選手は②として判定
●審判ほか：審判は主催者にて。公認大会運営の場合、アタック判定の
計測システムは貸出可能。防球ネット設置は必須としない。
●位置づけ：新しい組み合わせによる試合機会創出と競技力向上を狙いとした制度







『超えろ、昨日までの自分たちを。』

【C】 [CLUB FRESCOBALL STYLE] HAYABUSA Proシリーズ
賛助会員同士で自己ベストを追求する、年間スコアチャレンジ

JFBA賛助会員のペアが、JFBA認定拠点（明石・逗子）のスピードガンシステムを使って、日常的にさまざまなペアとの自己ベストに挑戦する年間記録制度。

●対象： JFBA賛助会員同士のペア
●ランキング：[CFS] HAYABUSA Proシリーズ ランキング
●実施： JFBA認定スピードガンシステム設置拠点（現在はGPA・ZFC）で随時計測
　　⇒　登録したい結果を賛助会員LINEを通じて報告
　　（新規登録 or スコア更新時）
●期間：2026年12月1日～202711月30日
●ペア編成： 挑戦回数は無制限。
　　同一選手が複数のペア単位で年間最高スコアを登録することも可能。
●情報発信： 公式サイトで全国ランキングを毎週更新。
●活動支援： 賛助会員費の一部を用い、計測拠点のクラブに運営協力金を分配する
　　（年間のユニーク登録ペア数×100円（上限30,000円））
●位置づけ： 大会参加を必要としない、日常の競技活動ならびに
　　スピードガンシステムの利用促進・競技力向上を
　　支援することを狙いとした制度
●トピック：スピードガンシステムをより借りやすいよう、
　　レンタルルール・価格改定も行います。



